

親切運動の取組について

学校名 立山町立釜ヶ淵小学校
児童数 43名

1 親切運動の取組の紹介

① 3・4年生と5年生の総合的な学習の時間「感謝の集い」

3・4年生と5年生がそれぞれ総合的な学習の時間にお世話になった地域の方々を学校に招待した。3・4年生が畑で育てた里芋を使ったつぼ煮と、5年生が育てた米で炊いたご飯を地域の方々と一緒に楽しく話しながら食べた。5年生は米づくりを通して学んだことをプレゼンテーションにまとめて発表し、3・4年生は、こま回しやけん玉の技等を披露して感謝の気持ちを伝えた。

お世話になった地域の方々に感謝の気持ちを伝えることができ、相手に喜んでもらうことへの喜びを実感することができた。



② 6年生の総合的な学習の時間「地域の方と仲良くなろう」

6年生の総合的な学習の時間に、社会福祉協議会が主催する子育てサロンに参加し、地域の方々との交流を深めた。さらに、6年生が企画するサロンを開き、地域の方々を学校に招待し、地域の方々に喜んでもらえるよう考え実施した。

回を重ねるごとに地域の方の名前と顔がすぐに分かるようになったことで、子供たちは仲良くなることができたと実感した。自分から地域の方々と関わることができる力が高まったと感じる児童の姿から、活動を通して成長したことが伺えた。



2 親切運動に取り組んで

<成果>

学校全体として、地域との関わりを大切に活動を行ってきた。そうすることで、地域の方々との仲を深めたり、地域の方々のやさしさに触れたり、釜ヶ淵地区の温かさを感じることができた。また、相手に喜んでもらうことへの喜びを実感したことで、より相手のために行動したいという思いを高めることができた。

<課題>

それぞれの学年がすてきな取組を行っている。互いに学年の取組を紹介し合う場をさらに設けることで、各学年のよさが学校全体に広まっていくと考えられる。